

BCAO 関西 2015年2月(第97回) 勉強会議事録

日時：2015年2月28日(土) 14時半～18時

場所：ユニバーサルスタジオジャパン

出席者(敬称略)：萩原、鷺山、伊藤(高)、福島、日下、徳永、野原、速水、久保田、大館、山口、飯田、伊藤(聖)、小友、笹平、中村(和)、深井、北田、平井、増穂、能任、柳父

オブザーバー参加(敬称略)：石岡、原田、中村(謙)、吉田

話題提供：大館氏、書記：柳父

1. USJにおける防災の取り組み(講演)

ライトアトラクション15、ショーアトラクション8、アトモスフェア7で事業展開
54haに主要建物66棟を含む124棟あまりを防災センターで管理

飲食21店舗+カート14、物販(49店舗)

開業時コンセプトは Power of Hollywood だったが、今は World Class Family Entertainment に軌道修正

大規模投資は2013年にスパイダーマン(100億)、2014年にハリーポッター(500億)であるが、その他にも毎年投資をすることで魅力を高めている。

2月20日時点で入場者数1100万人を突破し、今年度は1200万人に届くかどうか
会社は1994年設立、資本金500億円、社員700、アルバイト他を含め8000人が「期待を上回る感動とサービス」のために働いている

多種多様な業務でパークを支えており、夜間メンテも含め365日24時間体制で活動している

BCPというより防火防災を中心に体制を整えている

コンプライアンスと安全衛生と防災を軸にリスクマネジメント体制を組んでいるが、教科書的BCPの代替施設は考えられず、初動対応がポイントである

リスク対応は自然災害・人為災害対応マニュアルと、地震と津波の初動対応マニュアル、感染症対応マニュアルなどがある

社長がトップの防災体制で、施設マネージャーが施設の防火責任者となり施設毎に体制を整えると共に、自衛消防本部隊としてコマンドセンター(防災センター)や消防車を運用するセーフティサービスがある

避難誘導は、セキュリティクルーが駆け付けサポートする

地震想定は、震度6弱、津波高OP+4.4~5.3であり、USJは盛土されているため想定上はパークは浸水しないが西九条駅周辺やJRゆめ咲線は浸かるため、陸の孤島になると想定している

大阪市の防災計画では、スーパー堤防が地震で破壊されるシナリオもあり、津波がなくても一部道路やJR線路が10分で浸水し孤島になる

東南海地震や生駒断層地震では、入園者をまず滞在させ、その後状況を見て帰宅して頂く。ファーストエイドは医師は常駐しておらず、看護師と救命士が常駐。南海トラフ巨大地震では津波到来までにさらに高い場所のシティーウォークのホテルなどに逃げることも想定しているが、その必要性があるかとの意見もある

パークの情報はPHSか無線でコマンドセンターに入り、各種警報も把握しており、コマンドセンターからの指示でパーク内係員がサイトに駆けつける体制をとっており、有事の際も日々の活動と同じ情報伝達となる

地震発生後は建物に避難できるかどうかを早期に判断したいので、社内資格の判定士制度を設け、40名位の資格取得者の誰かがシフトのなかに入っているようにしている

停電するとコージェネレーションで発電するが、発電容量は保安用電源のみへ供給

屋内で炎や花火を使い、ジョーズやウォーターワールドではガソリンや軽油も使うので、危険物保管管理も重要な業務となっており、微量なものではスプレーや有機溶剤の入ったボンブなどの危険物も保管庫に入れ、毎週点検している

法定で定められた消防訓練とは別に地震津波対応訓練を年数回行い、3～4年で入れ替わる学生のクルーにも極力参加させている。またAED使用の普通救命講習も受講基準を設けてアルバイトクルーにも受講させている。

新しいアトラクションができる度に、消防署にも協力頂き想定外のアクシデントにも対応できるよう現場確認や訓練を行っている

東日本大震災では支援物資の提供、泥かきなどのボランティア活動、キャラクターと共に避難所や仮設住宅への訪問などを実施し現在も継続している。

Q：総合訓練は閉園後、どのくらいの時間をかけるか？全員が参加するか？

A：20時閉園の日は、21時に開始し、1.5時間位の訓練である

エリア別に分けて数回行っているが、クルー全員は参加できていない。

例年なら2月3月が閑散期で、大規模に行うことができたが客足が伸びていて、今後は更に営業時間延長が考えられ、訓練が難しくなると考えている

Q：社内応急判定士とは何か？

A：被災建物応急危険度判定士の社内版で1級建築士の公的資格取得者が講師になり、判定方法を教えている。帰宅困難者が出た場合は応急で判定し、安全と確認された建物に避難して頂く予定。二次被害が出たらどうするかという議論も出たが、天候により屋外で滞留できない場合もあるので、素早く判定できるようにした。

Q：外国人向けの災害情報伝達は？

A：4か国語で放送している。昨年の台風18号でJRが運行停止したときに、何度も放送したのに、外国人で聞いてないという人が100名ぐらいでた
情報弱者への情報伝達は難しい

Q：災害リスクについての同業他社との情報交換があるか？

A：O社とは常に情報交換をしている。

Q：アメリカ本社との連携は？

A：アトラクションやイベントに関する安全審査基準はあるが、防災に関する基準や特に地震に関する基準は日本の方が進んでいる
テロ関連や航空機墜落想定のマニュアルなどは、アメリカの物を日本版に修正している

2. パーク内見学

防災センター（コマンドセンター）、消防基地、ハリーポッター見学路、クールジャパン

以上